

# 星空ガイド 10月16日～11月15日

## よいの星空

10月16日22時頃  
11月 1日21時頃  
15日20時頃



## あけの星空

10月16日 4時頃  
11月 1日 3時頃  
15日 2時頃



[太陽と月の出入り(大阪)]

月	日	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
10	16	6:04	17:22	15:28	1:20	9.7
	21	6:08	17:16	17:46	6:22	14.7
	26	6:12	17:10	20:52	11:07	19.7
11	1	6:18	17:04	1:50	15:08	25.7
	6	6:22	16:59	7:41	18:01	1.2
	11	6:27	16:56	12:54	23:12	6.2
	15	6:31	16:53	14:58	2:19	10.2

※惑星は2021年11月1日の位置です。

**夕方7時の空は、金星・木星・土星がズラリ**

ふだんの秋は1等星が少なくさびしいのですが、今年は違います！

夏ごろからずっと見えていた金星、木星、土星がズラリと横に並び、非常に派手な空を作り出します。特に金星の移動が速く、1週間ごとに見るくらいでも、12月にかけてぐんぐん木星や土星に接近していき、まさに「惑星」という感じがわかります。

特に、月が金星と接近する11月8日と木星に接近する11月11日の間は見物です。

**11月8日午後2時前後、大阪では9年いや18年ぶりの金星食 昼間1時44分～2時26分**



月が金星を隠す、金星食が起こります。前回大阪の金星食は2012年8月14日の未明でしたが、天気が悪く、その前は2003年5月でしたので観察できれば実に18年ぶりです。

なお、見るのは1時40分～45分と、2時25分～30分がベストです(左図)。月食や日食と違い「食の最中」は金星が見えないだけで、おもしろくありません。食の直前&直後がよいのです。

昼間なので、肉眼で金星を見るのは、できはしますが難しいでしょう。月も見つけにくいかもしれません。双眼鏡や望遠鏡低倍率(30倍程度まで)で太陽の左の方にある月をとらえ、月にかくされ、出てくる金星を見つけましょう。なお、うっかり太陽を見ないよう、十分注意！

**11月19日夕方は皆既に限りなく近い部分月食、予定よろしく(次号で詳しく書きます！)**

月食のはじめ:16時18分、最大:18時3分、終わり:19時47分。東の見晴らし確保！

**[こよみと天文現象]**

月	日	曜	主な天文現象など
10	16	土	金星とアンタレスが接近
	18	月	後の月
	20	水	○満月(24時) 土用の入
	21	木	オリオン座流星群が極大のころ
	23	土	霜降
	25	月	月が最遠(405600km) 水星が西方最大離角

月	日	曜	主な天文現象など
11	2	火	水星とスピカが接近/変光星とも座L2(2.6~8.0等)の極大
	4	木	明方の低空に月と水星がならぶ 北米で水星食
	5	金	●新月(6時)/天王星が衝
	6	土	月が最近(358800km)
	7	日	立冬
	8	月	金星食(13時44分~14時26分) 夕空に月と金星がならぶ
	11	木	●上弦(22時)/明方の低空に水星と火星が接近

**渡部 義弥(科学館学芸員)**